

授業科目名・形態	エイジング論	講義	必修・選択の別	選択※
担当者氏名	檜原登志子・庄司光子	開講期	1年後期	単位数 2

※看護学科必修

【授業の主題】

発達の見点から老化を理解する。老化に伴う身体的機能や心理的機能の変化についての基礎的な知識を習得する。また、サクセスフルエイジングの他に、老化に伴う心と身体の変化と日常生活への影響についても理解する。これらには、人間の成長と発達、老年期の定義、老年期の発達課題、老化に伴う心身の変化の特徴、老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響、高齢者の心理、老化に伴う心身の変化と日常生活への対応（援助）、高齢者に見られる精神障害とそれに対する対応（援助）などが含まれる。

【到達目標】

1. 高齢化、高齢者について身体的、心理的、社会的エイジングのプロセス（過程）を正しく理解できる。
2. 超高齢化社会のライフスタイル、家族形態、老いの意味の変化を理解できる。
3. エイジングによる日常生活への影響を理解し、リスクマネジメントを理解できる。
4. 高齢者のイメージを正しくし、正確な高齢者像を理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	発達とは	(檜原)	ペーパー演習
第2回	人間の発達段階と発達課題	(檜原)	
第3回	発達と個人差	(檜原)	
第4回	老化とは	(檜原)	
第5回	老年期の発達課題の留意点	(庄司)	
第6回	老化が及ぼす心理的影響	(庄司)	
第7回	老いの価値・受容	(庄司)	
第8回	高齢者の心の問題と精神障害	(庄司)	
第9回	老化に伴う身体機能の変化と日常生活への影響	(檜原)	体験演習
第10回	老化に伴う身体機能の変化と日常生活への影響	(庄司)	
第11回	高齢者の症状・疾患の特徴	(庄司)	
第12回	保健医療職との連携：事例で学ぶ老化の理解	(庄司)	ペーパー演習
第13回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点	(檜原)	体験演習
第14回	高齢者に多い病気とその留意点	(檜原)	
第15回	高齢者に多い病気とその留意点	(檜原)	

【授業実施方法】

基本は講義形式。必要に応じ（高齢者の立場に立って生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材）等を視聴して、状況を洞察し思考する。演習も行う。

【授業準備】

ニュースや新聞などで報道される、社会の高齢者の問題に関心を向け日々研鑽してください。毎回ごとにより「事前学習」と「事後学習」の課題を提供し、提出を求めます。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（精神科）」「保健・医療と法律」「日常生活支援技術」

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座 11「発達と老化の理解」第3版中央法規出版、2018

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 85 %、課題学習レポート提出 10%、出席状況（授業態度含む）5% の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

高齢者を正しく理解することが学習の第一歩です。高齢者を取り巻く社会の状況にも関心を寄せて下さい。